



～笑顔のまち 住みよいまち やまだ～

まちづくり通信
やまだ

人口	7,845人
男性	3,830人
女性	4,015人
世帯数	3,329世帯

山田学区 (6月30日現在)



山田まち協公式
LINEQRコード

発行者
山田学区まちづくり協議会
草津市南山田町678
山田まちづくりセンター内
TEL/FAX 077-562-0044
<http://www.machikyou/yamada/>

山田の未来をつくる100人若手ワークショップ



その後、あおばな館にて「未来の種」として活用できるかという視点で、ディスカッションしました。

自分の興味のあるテーマにそれぞれ分かれ、オンライン参加者も一緒に、10年後の山田の未来づくりのために何をしたいかチームで話し合いました。

山田の未来を一緒に考えてくれる人まだまだ募集中です!

次回第3回は、**8月26日(水)**に開催します!
時間等、詳細が決まり次第、ホームページやLINEでお知らせします!

7月5日、第2回目は、北山田漁港やai彩広場など、馴染みのある場所をめぐるフィールドワークを行いました。山田学区をバスでまわりながら、学区の様子や雰囲気を実際に感じ取ることができました。草津市役所の方に各所の説明をしていただき、改めてみなさんとその場所の魅力を確認しました!



山田のメロン&野菜販売&メダカの頒布会ありがとうございました!

山田まち協LINE企画第1弾!
訳ありメロン販売が無事終了しました。5回の販売日を設け、合計380個のメロンを約190名の方に購入していただきました。

メロンと一緒に新鮮な地元夏野菜もずらりと並び、喜んでいただきました。また、南山田町の岸本庄司さん一家が飼育されたメダカの頒布会を同時に行ったところ、バケツを持って多くの方が並んでくださいました。「息子に頼まれて来ました。とってもかわいくて癒されます^^」「はじめてメダカを育てます。がんばります!」「孫と大事に育てます」など嬉しいコメントをたくさんいただきました。

今回、販売日直前のLINEのみのお知らせになりましたが、たくさんの方に足を運んでいただき、感謝しております。まちづくりセンターの最新ニュースも配信していますので、まだ、登録されていない方は、ぜひお早めをお願いします。山田まち協LINEは、上のQRコードから登録できます。





まち協対談第1弾！ 久泉会長 新しいまちづくりセンターへの夢を語る！

ポストコロナの活動再開に向けて苦心する久泉次郎会長に、奥健次副会長がこれからの抱負などを尋ねました。



うれしかったことを、みんなに

Q まち協の会長になって3ヶ月たちますが、何か感じることはありますか？

自分がその立場になったらというのは、先輩たちを見ていて考えさせられていました。こんなことがやりたいというメモ書きは、心の中にたくさんありますが、それを具体化するためには、もっと勉強が必要だと思っています。今のトレンドはどうなっているか、今大切ことは何かということにも注目して、組織の中に生かしていきたいですね。そのためには、自分がしてもらってうれしかったことを大切に、他の人への配慮や気配りに工夫するように心掛けています。それと情報発信をすることです。積極的に発信しなければ、情報は入ってこないですから。

声を聴くことから

Q コロナでさまざまな活動が休止し歯がゆいでしょうが、今年のまち協で力を入れていきたいことは？

まずは、理事会の活性化です。まち協の活動に責任を持つ組織にしたいと考えています。それと、皆さんの声を聴くことです。

センター利用者アンケートからも、自販機が欲しい、野菜を販売してほしい、SNSを使っての情報発信など、いろんな提案が出ていました。これらの提案は、すぐに取り上げて実現しました。みんなの声を受け止めることと、協力してそれを実現していくことを大切にしたいです。まち協と連携して活動されている団体が23団体あります。コロナで活動が停滞しているところもありますが、このようにときだからこそ、連携を強めていくことが必要だと考えています。

5つの提案

Q 今年度当初4月号のこの通信で、5項目の提案をされています。優先順位はありますか？

どれも大切なことで、やらなければと思っています。まちづくりセンターは、住民が集い、学びあい、結びつく場です。ふれあいまつりは、みんなが知恵を絞って、コロナ禍のなかでの工夫をしたうえでやりたいと、11月15日に予定し、開催に向けての準備を進めています。

若手ワークショップには期待しています。彼らの活動をサポートして、そこからの提言をきちんと受け止めるのが私たち役員の役割でしょう。新山田まちづくりセンター実現への取り組みも進めなければなりません。そのためにも、今年度から新しい体制と新しい組織に組み替えたわけですから。

新まちづくりセンター建設に向けて

Q まち協ができて8年目となるわけですが、10周年の節目を見据えて考えておられることは？

学区内の地域の実態を知っているのは町内会長です。町内会長との連携を通じて地域の活性化を図らなければ、まち協の活性化もないと考えています。市の交付金を活用して、地域からのボトムアップとそれを支える人材の育成を進めたいです。それに山田と言えば、やはり野菜です。「野菜の山田」のイメージを、新しい具体的な活動を通じて創っていきたいですね。そのためにも産官学の連携が重要となります。

若手ワークショップを指導してもらっている広島県立大学の百武ひろ子先生や、食をテーマに山田学区でフィールドワークを展開されている立命館大学食マネジメント学部の田中浩子先生への期待は大きいです。

そうした活動を前に進めていく大きな力になるのが、新しいまちづくりセンターです。今年度中には、市との協議を通してセンター建設への道筋をつけたいと考えています。

まちづくりプランを覗いてみよう！！



1. ホームページトップ画面上 "事業" をクリック

2. まちづくりプランをクリック



包丁研ぎのご案内

8月13日(木)9時～
9月10日(木)9時～
10月8日(木)9時～
山田まちづくりセンター 調理室
1本200円
※包丁に名前を書いて、新聞やタオルに包んでお持ちください。
「ボランティアグループ・ハナミズキ」
皆さんのご利用
おまちしています

◆草津市指定ごみ袋引換



引換はお早めをお願いします。